

第1学年東組 国語科学習指導案

学習指導者 金崎 知子

単元 「きいて！ たんけんでみつけたよ」

1 本単元のねらい

国語への関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと的能力	言語についての知識・理解・技能
探検で見付けたものについて進んで友達に伝えたり、よく分からないことやもっと知りたいことについて質問したりしようとする。	自分の伝えたいことをはっきりさせ、分かりやすく伝えるための表現の仕方を考えながら話す。また、相手が伝えたいことは何かを考えながら聞いたり尋ねたりする。	はっきりした発音で、相手が聞き取りやすい声の大きさを意識して話すことができる。

2 単元について

(1) 教材開発とその組織について

本単元は、学校探検で見付けたものを紹介し合う活動を通して、知らせたい事柄を選び分かりやすく伝える力や、相手の伝えたいことが何かを考えながら聞く力を育成することをねらう。

この時期、子どもたちが話したり書いたりする際、伝えたいことの対象がはっきりしなかったり、「おもしろい」「きれい」といった抽象的な表現をしたりすることが多い。それは、自分自身が経験し、分かっていることであるため、たとえ他者にとって分かりにくい表現であっても、その分かりにくさを自覚しにくいのである。

そこで、**伝える視点のはっきりした写真と分かりにくい写真を比べたり、分かりにくいスピーチと出合わせたりすることによって**、分かりにくい部分はどこかをはっきり捉えさせ、なぜ分かりにくいのかを吟味したり、どうすれば分かりやすくなるかを考えたりさせる教材を準備する。こうすることで子どもは、分かりやすく伝えるために「大きさ」「形」「色」「数」といった視点や、様子を詳しく表すための表現方法に気付くことができると考える。さらに、**視点や表現方法を分類・整理すること**で視覚的にも視点や表現のよさを実感することができ、様々な場面に転移・活用できる力になると考える。

(2) 脳科学研究の知見との関連

分かりにくいことを、自発的に分かるようすることで脳が活性化され、さらにそこで得た情報は、長期記憶につながる。 山鳥 重・ジョン=ブランスフォード 他

伝えたいことのはっきりした写真やスピーチと、分かりにくいものとを比較する活動を設定する。伝えたいことがはっきりしている写真やスピーチからよさを感じ取った子どもたちを、伝えたいことが分かりにくいものと出合わせることによって、分かりにくさを実感させる。そうすることで、子どもたちは自然に「何が伝えたいのか」また「どんな様子なのか」という疑問をもち、主体的に分かるようとするだろう。こうして獲得した思考様式は、必要感を伴っており、様々な場に転移・活用できるものになると考える。

視覚的に整理されることで、多様な要素の関係が読み取りやすくなる。

山鳥 重・久恒啓一 他

本教材は、音声言語が中心であるため一過性のものとなり、子どもたちの意識に残りにくい。そこで、見付けた伝えたいことの視点や詳しく話すための表現方法を文字言語に置き換え、視覚的に整理することで、伝えたいこととの関係が捉えやすくなるとともに、思考様式として記憶が強化されると考える。

3 単元計画（総時数 7時間）

自己紹介をしよう（3時間）

「はなしたいな ききたいな」を読み、好きなものや得意なことなど、友達に話したいことを決める。

グループの友達に好きなものや得意なことなどを話したり、知りたいことを尋ねたりする。

話型に添って、絵や写真を見せながらクラス全体で話したり、質問したりする。

学校探検で見つけたものを紹介しよう（4時間）

自分が紹介したいものを決め、写真を撮る。

体育館でボールを見つけたことを紹介しよう。

私は、音楽室の楽器のことを伝えたいな。

メディアルームを写した2枚の写真を比較しながら紹介する際の視点を見付け、自分の伝えたい視点をはっきりさせる。

【1日目 2/4】

同じものを紹介しているのに、どうしてこんなに写っているものが違うのだろう。

先生はコンピュータの何が伝えたいのかがはっきりしていないんじゃないかな。

私は、音楽室の楽器を鳴らしたとききれいな音がしたことを伝えるわ。

図書室にはたくさん本があったことを紹介するよ。

自分の伝えたいことをはっきりさせることが大事だね。

「大きさ」「数」「形」「音」等、見つけた視点を基に、自分の紹介したいことをはっきりさせる。

教師の紹介を基に分かりやすく伝えるための表現方法について話し合い、自分の表現に生かす。

【2日目 3/4】

「たくさんあった」と言ったけれど、たくさんでは数が分かりません。何台くらいあったのですか。

「コンピュータの画面がおもしろそう。」と言うのは、どんなふうに何がおもしろそうだったのですか。

私はきれいな音のことを伝えたいのだけれど、どう言えばいいのかな。もう一度音を聞いてみよう。

「数字を使う」「似たものと比べて言う」「理由を言う」等の方法を使い伝えたいことを詳しく話すことができる。

見つけたもの発表会をする。

保健室でぼくが3人寝られそうな大きさのベッドを見付けました。

脳科学研究の知見との関連

2枚の写真を比較し、なぜ分かりにくいのかを考える

まず、伝える視点のはっきりした写真から何が伝えたいのかを捉える。次に、視点のはっきりしない写真を基に、何が伝えたいのか、なぜ分かりにくいのかを考える。そして、伝えたいことははっきりさせるための視点を見付ける。さらにそれを基に自分の伝えたいことを振り返ることで分かりにくさをはっきりと認識し、伝えたいことをはっきり捉え直すと考える。

よく分かるように話すために必要な視点を整理する

一人一人の見つけた視点を黒板上に分類・整理する。これによって、39人分の視点が「大きさ」「形」「色」「数」といった視점에整理され、分かりやすく説明するときの思考様式となる。（で実施）

抽象的な言葉で分かりにくいスピーチ原稿を基に分かりやすくする方法を考える

「おもしろそうでした。」という表現から、コンピュータを見たときの思いを想起させ、「おもしろそう」と感じている事柄が人によって違うことに気付かせる。そして、なぜそう感じたのかを伝えることの大切さを認識した子どもたちは、自分の表現を振り返り、分かりやすい表現にしようとするだろう。

分かりやすく伝えるための表現方法を整理する

子どもたちの見つけた表現方法を整理する。これによって、伝えたいことと表現方法との結びつきが強化される。

（で実施）

4 本時（1日目）の学習指導 【研究授業】

(1) 目標

2枚の写真を比べて伝えたいことが分かりにくい原因を考えたり，伝えたいことをはっきりさせたりすることができる

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識	
<p>1 T1とT2の写真を基に，何を紹介したいのかを話し合う。</p>	 <p style="text-align: center;">T 2</p> <p>先生の写真にはたくさんさんのコンピュータが写っているね。きっと，メディアルームにコンピュータがたくさんあったことを伝えたいんじゃないかな・・・。</p> <p>メディアルームでコンピュータを見付けました。たくさんありました。</p>	 <p style="text-align: center;">T 1</p> <p>先生の写真にはコンピュータが1台写っているよ。先生と同じでコンピュータを紹介するんだね。先生は，コンピュータのどんなことを紹介したいのかな。</p> <p>メディアルームでコンピュータを見付けました。・・・。</p>
<p>紹介したいことをはっきりさせよう</p>		
<p>2 紹介することの視点を見付け，整理する。</p>	<p>「たくさんある」というのは「数」のことだね。</p>	<p>「画面がおもしろそう」という「思ったこと」にするよ。</p>
<p>3 自分の紹介したいことをはっきりさせ，スピーチ原稿を見直す。</p>	<p>数 色 音 形 大きさ 手ざわり 思ったこと</p> <p>私は，メディアルームでコンピュータを見付けました。おもしろそうでした。</p>	
<p>4 次時の学習課題をもつ。</p>	<p>「おもしろそう」ってどんなところが？</p>	

《前時までの子どもの心像モデル》

・大太鼓の	大きさ
・コンピュータの	数
・ベッドの	気持ちよさ
・楽器の	音

探検で見つけたものの中から，自分の心に残ったものを選んでいる。しかし，どんな視点から紹介したいかがはっきりしていない。

なぜ心に残ったのかということ伝えなければ相手によく分からないということを意識していない。

脳科学の知見に基づいた支援

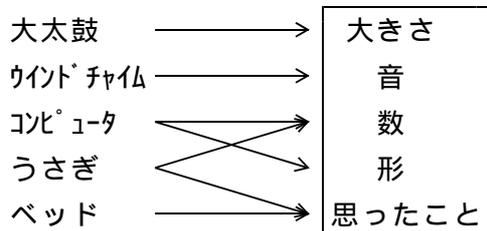
《分かりにくさをクローズアップさせるための写真の活用》

分かりにくさを感じ取らせるために，伝えたいことの分かりやすい写真と分かりにくい写真を見せる。まず，T2が伝えたいことが分かりやすい写真（コンピュータがたくさんある）を提示し，コンピュータの「数」に視点を当てて紹介しようとしていることに気付かせる。その後T1が，伝えたいことのはっきりしない写真（1台のコンピュータ）を提示することで，子どもは，T2の「数」という視点に対して，T1の伝えようとしていることが何かを考えるだろう。「T1の写真は何が伝えたいのか分からない」という子どもたちの意見から，T2が「伝えたいことがはっきりしていないのではないか」ということを指摘し，伝えたいことをはっきりさせることの大切さに気付かせる。これによって，子どもたち自身も自分の伝えたいことをはっきりさせる必要性を実感することができると思う。

《よく分かるように話すために必要な視点を整理する》

分かりやすく伝えるための視点を見出しても，すぐにそれを自分のスピーチ原稿に生かすことは難しい。そこでまず，「ベッドのことを伝えるなら，大きさ，手ざわり」「大太鼓のことなら音，大きさ」といったように，全体で視点を見付ける練習の場を設ける。また，見つけた視点を視覚的に捉えられるように分類・整理することで，「色」「形」「大きさ」「数」「手ざわり」「音」「思ったこと」等の視点が，分かりやすく説明する際の思考様式としてはっきりと意識付けられると考える。

《期待する子どもの心像モデル》



自分の紹介したいものと，それを伝えるために必要な視点とが結び付いている。

その視点が正しいかどうか，また，伝えたいことにもっとふさわしい視点はないかと考えている。

【評価】方法：スピーチ原稿及び活動の様子

B：自分の紹介したいものに合った視点を見付け，メモしている。

A：Bに加え，それに合う写真を選択している。

B例

ソファーを見付けた。気持ちよかった。

A例

大太鼓を見付けた。とても大きかった。



4 本時（2日目）の学習指導 【研究授業】

(1) 目標

「おもしろい」という言葉を具体的な言葉に置き換える活動を通して、様子や気持ちを分かりやすく伝えるための表現方法について考えることができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識						
<p>1 前時の学習をもとに，二人の教師が考え直した説明を比べ，表現について話し合う。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>メディアルームでコンピュータを見付けました。画面がおもしろそうでした。</p> <p style="text-align: right;">T 1</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>メディアルームでコンピュータを見付けました。画面にえんぴつや絵の具等の絵があっておもしろそうでした。</p> <p style="text-align: right;">T 2</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>先生のは「おもしろそう」だけだから，どんなところがおもしろそうなのかが分かりにくいな。 先生のは，えんぴつや絵の具等のかわいい絵があったからおもしろそうと思ったという，理由まで話してくれたからよく分かったね。</p> </div>						
<p>どんな言葉で話したら様子や気持ちがよく分かるか考えよう</p>							
<p>2 子どもたちの表現を例に取り上げながら，詳しい表現に直す練習をする。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>先生もどうしてかわいいと思ったのが理由を話すといいね。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px;">大きなしゃもじ</td> <td style="padding: 2px;">ぼくの背の高さぐらいのしゃもじ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">かわいいうさぎ</td> <td style="padding: 2px;">白い毛のふわふわしたうさぎ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">たくさんの本</td> <td style="padding: 2px;">四千冊以上の本</td> </tr> </table>	大きなしゃもじ	ぼくの背の高さぐらいのしゃもじ	かわいいうさぎ	白い毛のふわふわしたうさぎ	たくさんの本	四千冊以上の本
大きなしゃもじ	ぼくの背の高さぐらいのしゃもじ						
かわいいうさぎ	白い毛のふわふわしたうさぎ						
たくさんの本	四千冊以上の本						
<p>3 自分の表現を見直し，修正した表現を伝え合う。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「大きな鏡」を「ベットぐらいの大きな鏡」にするよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「きれいな花」を「白や黄色や紫の花」にしたよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>保健室のベッドは「すわるとふかふかしていて気持ちよさそう」とわけを話すよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>大きさを伝えるときには，みんなが知っているものと比べて言えばよさそうだ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>どんな色なのかを詳しく話すといいね。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>思ったことを話すときは，どうしてそう思ったのか理由も話すとよく分かるね。</p> </div> </div>						
<p>4 次時のめあてをもつ。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>詳しく話すことが大切なんだね。でもぼくのは原稿は，いくつあったのか，どのぐらいの大きさだったのかよく分からないな。もう一度，数を確かめに行こう。</p> </div>						

《前時までの子どもの心像モデル》

大太鼓	→	大きさ(大太鼓はとても大きかった)
ウインドチャム	→	音(きれいな音がした)
実験道具	→	数(コンピュータはたくさんあった)
花	→	色(きれいだった)
うさぎ	→	思ったこと(かわいかった)

自分の紹介したいものと、それを伝えるために必要な視点とが結びついて

いる。
その視点が正しいかどうか、また、伝えたいことにもっとふさわしい視点はないかと考えている。

脳科学の知見に基づいた支援

《分かりにくさをクローズアップさせるための複数担任の活用》

「大きい」「かわいい」といった表現が具体的でないということを理解するには、まず、どのような表現が具体的であるかを知らなければならない。そこで、同じ写真を基にT1が「画面がおもしろそう」という紹介をした後、T2が「えんぴつや絵の具等の絵があっておもしろそう」とおもしろいと思った理由を加えた紹介を行う。T1の紹介だけでは分かりにくさに気付かなかった子どもたちも、T2の紹介を聞くことによってその違いを意識し、詳しく話すことによって様子や気持ちがよく分かるようになることを実感することができるだろう。

《詳しく話すための方法を整理する》

教師の紹介の表現から、抽象的な表現と具体的な表現があることや、具体的な表現にすることで様子や気持ちが分かりやすくなることに気付いた子どもたちは、自分のスピーチ原稿を見直し、具体的な表現に改めていく。しかし、抽象的な表現を見付けたり具体的な表現に改めたりすることは難しい。そこで、まず、「40台ぐらい」「ベットぐらいの大きさ」といった具体的な表現と「たくさん」「大きい」といった抽象的な表現を分けるゲーム的な練習を行う。これによって、スムーズに抽象的な表現を見付け、具体的な表現に改めることができるだろう。また、見付けた表現を視覚的に捉えられるように黒板上に分類・整理することによって「数字を使う」「似たものと比べて言う」「理由を言う」等の表現方法をより分かりやすく捉えさせたい。

《期待する子どもの心像モデル》

大太鼓	→	大きさ	→	他のものと比べて
ウインドチャム	→	音	→	どんな音が
実験道具	→	数	→	いくつあるのか
花	→	色	→	どんな色か
うさぎ	→	思ったこと	→	わけを言う

「たくさん」「きれい」「大きい」等の言葉では、相手に分かりにくいということを意識している。

自分の伝えたいことを、詳しく説明するための具体的な表現方法が分かる。

【評価】方法：スピーチ原稿及び活動の様子

B：抽象的な言葉と具体的な言葉を分類し、自分の表現に生かせそうな言葉を選んでいる。

A：Bに加え、具体的な言葉を自分の表現に生かしている。

B例		A例
大きい	かわい	ベッドを見付けました。ぼくが3人寝られそうな大きさでした。
たくさん	きれい	
		~ぐらいの大きさ
		10本ぐらい